

平成 28 年度労災疾病臨床研究事業費補助金  
「過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」  
(150903-01)  
分担研究報告書

脳・心臓疾患及び精神障害の労災業務外事案の実態に関する研究

研究分担者 山内貴史 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所  
過労死等調査研究センター・研究員

【研究要旨】

本研究では、過去約 5 年間のわが国における脳・心臓疾患及び精神障害の労災不支給決定事案（「業務外」事案）についての情報をデータベース化し、これまで詳細が報告されていなかった業務外事案の実態を把握することを目的とした。平成 22 年 1 月から平成 27 年 3 月までの脳・心臓疾患と精神障害の業務外事案について、全国の労働局及び労働基準監督署より収集された関連情報のデータベースを構築し解析した。最終的にデータベース化されたのは脳・心臓疾患事案 1,961 件及び精神障害事案のうち平成 23 年 12 月策定の「心理的負荷による精神障害の認定基準」に基づいて業務外と決定された 2,174 件であった。脳・心臓疾患については、業務上事案と同様に、男性、発症時年齢が 50～59 歳、決定時疾患が脳内出血のものが多かった。業種別では、建設業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業の順に事案数が多かった。これに対して、女性では脳血管疾患に集中し、対人サービスのある業種が事案の 75% を占めた。また、業種・職種別に疾患をみると、男性では多くの業種・職種において脳内出血の割合が高く、女性では多くの業種・職種においても膜下出血の割合が高かった。労働負荷は、労働時間以外の負荷要因の交代勤務・深夜勤務が最も多くみられたものの事案の 10% ほどであった。時間外労働時間は、発症前 1 か月から 6 か月の間で平均 30 時間ほどであった。精神障害については、業務上事案と同様に、業務外事案においても男性が多く、特に自殺事案では約 9 割が男性であった。発症年齢別では 30～39 歳及び 40～49 歳がほぼ同数で最も多かったが、自殺事案に限れば 29 歳以下が最も多かった。業種別では、雇用者総数の多い製造業、卸売業・小売業、医療・福祉などで事案数が多かった。疾患別では、業務上と同様、男女ともに自殺事案で気分[感情]障害の割合が高く、生存事案では神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害の割合が高かった。また、労災認定の対象となる精神障害の発症なし又は精神障害の発症の有無を特定不能と判断された事案も見受けられた。男女を問わず、最も多かった出来事は「上司とのトラブル」であった。今後、業務上・外を包括した労災請求事案全体を解析する観点からのより詳細な実態分析が必要である。

研究分担者：

松元 俊（労働安全衛生総合研究所過労死等調査研究センター・研究員）  
佐々木毅（同センター・上席研究員）  
茅嶋康太郎（同センター・センター長）  
吉川 徹（同センター・センター長代理）  
高橋正也（労働安全衛生総合研究所産業疫学研究グループ・部長）

A. 研究目的

平成 27 年度に労災請求の業務上・外の決定が行われた脳・心臓疾患事案 671 件のうち、業務上と認定されたのは 251 件（37.4%）となっ

ている。また、同年度の精神障害の業務上・外の決定事案 1,306 件のうち、業務上と認定されたのは 472 件（36.1%）となっている。業務上と認定された事案の実態については労災疾病臨床研究事業において、また、「過労死等の労災補償状況」において公表されているが、労災請求件数の 6 割以上を占める業務外事案の詳細についてはこれまで報告されていない。本研究では、過去約 5 年間の脳・心臓疾患及び精神障害の労災不支給決定事案（以下、「業務外事案」という。）についての情報をデータベース化し、その実態を把握することを目的とした。

## B. 研究方法

### (1) 分析対象

平成 22 年 1 月から平成 27 年 3 月の業務外事案について、全国の労働局及び労働基準監督署から調査復命書等を過労死等調査研究センターに収集しデータベースを構築した。最終的にデータベース化したのは脳・心臓疾患事案 1,961 件及び精神障害事案のうち平成 23 年 12 月策定の「心理的負荷による精神障害の認定基準（以下「認定基準」という。）」に基づいて業務外と決定された 2,174 件であった。

### (2) 分析方法

性・年齢（請求時、発症時、死亡時）、業種・職種、疾患名、時間外労働時間数、前駆症状、出来事などの情報に関する基本集計を行った。

（倫理面での配慮）

本研究は、労働安全衛生総合研究所研究倫理審査委員会にて審査され、承認を得たうえで実施された（H2743）。本研究で用いたデータベースには、氏名、住所、電話番号等、個人の特定につながりうる情報は一切含まれない。

## C. 研究結果

### 1) 脳・心臓疾患事案

#### 1-1) 性別・年齢・疾患（表 1-1）

業務外事案 1,961 件のうち、1,669 件（85.1%）が男性、292 件（14.9%）が女性であった。

年齢別では、発症時年齢が男女ともに 50～59 歳が最も多く、40 歳以上が全体の 88% 超を占めた。

決定時疾患は、複数記載されている事案があり、すべてを数値に含んだ。男女あわせて、脳内出血が最も多く（31.2%）、くも膜下出血（15.4%）、心筋梗塞（15.2%）、脳梗塞（14.3%）、心停止（13.4%）と続き、これらが全体の 90% を占めた。女性のうち約 80% が脳疾患であった。

前駆症状の記載があったのは全体の 30% 未満であった。これは男女別にみても変わらなかった。

#### 1-2) 業種・職種（表 1-2）

業種別の事案数は、全体では建設業（16.2%）が最も多く、次に運輸業・郵便業（15.7%）であった。どちらも、男性において事案の多い業種であった（建設業 18.7%、運輸業・郵便業 17.7%）。男性はさらに多い順に、製造業（15.1%）、卸売業・小売業（14.3%）、サービス業（他に分類されないもの）（12.0%）が続いた。女性は、医療・福祉（24.7%）が最も多

く、次いで卸売業・小売業（21.6%）、サービス業（他に分類されないもの）（12.9%）、宿泊業・飲食サービス業（12.9%）の順に多かった。

職種別には、男性では輸送・機械運転従事者（15.4%）が最も多く、次に建設・採掘従事者（14.5%）であった。女性では、サービス職業従事者（36.2%）が最も多く、次に販売従事者（15.0%）であった。

#### 1-3) 就業規則・健康管理（表 1-3）

健康診断は全体で 70% が受診しており、面接指導は 1.4% で実施されていた。また既往歴は 50% にみられた。

#### 1-4) 労働負荷（表 1-4）

発症前 6 か月の労働時間以外の負荷要因は、交代勤務・深夜勤務が男性（11.7%）、女性（12.7%）ともに最も多くみられた。次いで、男性は拘束時間の長い勤務（11.1%）が多く、女性は作業環境（9.6%）が多かった。

時間外労働時間は、発症前 1 か月から 6 か月の間で、男性は平均 30 時間ほどで、女性は平均 18 時間ほどであった。

#### 1-5) 疾患と年齢、業種、職種のクロス集計（表 1-5～表 1-7）

脳内出血、心筋梗塞、解離性大動脈瘤は 50～59 歳、くも膜下出血、心停止は 40～49 歳、脳梗塞は 60～69 歳がそれぞれ最も多かった。

ほぼすべての業種において、脳内出血が最も多かった。学術研究・専門・技術サービス業、漁業、公務では心筋梗塞が最も多かった。職種別では、生産工程・労務作業（I-2、I-3）以外はすべて脳内出血が最も多かった。

男性はほとんどの業種において脳内出血が最も多かった。それに対して、女性は半数以上の業種でくも膜下出血が最も多かった。

### 2) 精神障害事案

#### 2-1) 性・年齢（表 2-1）

業務外事案 2,174 件のうち、1,306 件（60.1%）は男性であった。自殺事案は 279 件であったが、うち 247 件（88.5%）が男性であった。

年齢別に見ると、男女を問わず、発症年齢は 30～39 歳及び 40～49 歳が多かった。自殺事案では 29 歳以下が最も多かった。

#### 2-2) 業種（表 2-2）

業種別の事案数は製造業、特に男性で多く、以下、卸売業・小売業及び医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、運輸業・郵便

業の順で多かった。女性では医療・福祉で事案数が多かった。

### 2-3) 疾患名 (表 2-3、表 2-4)

性・生存死亡別の疾患名を見ると、男女を問わず、死亡、すなわち自殺事案で「気分[感情]障害 (F3)」、特に「うつ病エピソード (F32)」が多かった。生存事案では「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F4)」、特に「適応障害 (F43.2)」が多く、この傾向は女性で顕著であった。精神障害の発病なしと判断された事案も見受けられた。一方、年齢別では疾患の分布に顕著な差はみられなかった。

### 2-4) 出来事 (表 2-5、表 2-6)

性・生存死亡別の出来事を見ると、該当事案数が最も多かった出来事は「上司とのトラブル」であった。「(ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行」、「同僚とのトラブル」など、他の対人関係の出来事も多かった。また、「恒常的な長時間労働」、「1 か月に 80 時間以上の時間外労働」に該当した事案も見られた。一方、年齢別では出来事の分布に顕著な差はみられなかった。

## D. 考察

本研究では、過去約 5 年間の脳・心臓疾患及び精神障害の業務外事案の実態を概観した。以下、脳・心臓疾患、精神障害の順に、本研究の結果について考察を進める。

### 1) 脳・心臓疾患事案

脳・心臓疾患の業務外事案と同様に、業務外事案においても、男性、発症時年齢が 50~59 歳、決定時疾患が脳内出血のものが多かった。業務外事案に対して、業務外事案は女性比が 15% と多くなっており、性別による違いもみられた。決定時疾患は、女性では脳血管疾患に集中し、男性に比して対人サービスのある業種が事案の 75% を占めた。また、業種・職種別に疾患をみると、男性で脳内出血が最も多い業種・職種が多数を占めるのに対して、女性はいくも膜下出血が最も多い業種・職種が多数を占めた。

業務外事案と結果が大きく異なる点は労働負荷についての項目であり、業務外事案においては発症前 6 か月の時間外労働以外の負荷要因は、作業環境以外はすべて業務外事案よりも認められた割合が低かった。また時間外労働時間についても、発症前 1 か月から 6 か月まで平均でそれぞれ 30 時間未満であり、脳・心臓疾患における過重負荷の評価基準となる発症前 1 か月で 100 時間、発症前 2 か月から 6 か月で

平均 80 時間を大きく下回っていた。時間外労働時間は男性の事案よりも女性の事案の方が短かった。なお、最大値で男女ともに、発症前 1 か月で 100 時間、発症前 2 か月から 6 か月で平均 80 時間を超えている事案については、労働者性が認められない、認定対象疾患でない、時間外労働時間を認定する資料がない(証明できない)などの理由が確認された。

### 2) 精神障害事案

精神障害の業務外事案と同様に、業務外事案においても男性が多く、特に自殺事案では約 9 割が男性であった。発症年齢別では 30~39 歳と 40~49 歳がほぼ同数で最も多かったが、自殺事案に限れば 29 歳以下が最も多かったうえ、業務外事案と比較しても若年の自殺事案が多いことがうかがえた。

業種別では、雇用者総数の多い製造業、卸売業・小売業、医療・福祉などで事案数が多く、業務外事案と同様の傾向がうかがえた。女性の医療・福祉で事案数が顕著に多いことも業務上と同様であり、業務上・業務外を問わず、女性の労災請求において特徴的な業種と言える。

疾患別の動向をみると、業務上と同様、男女ともに自殺事案で気分[感情]障害の割合が高く、生存事案では神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害の割合が高かった。一方、業務上と比較すると、業務外事案では「心的外傷後ストレス障害 (PTSD ; F43.1)」が相対的に少なく、適応障害が多い傾向が見られた。

「ICD-10 国際疾病分類第 10 版(2003 年改訂)」における診断基準上、心的外傷後ストレス障害は「並はずれた脅威や破局的な性質でストレスの強い出来事又は状況」への曝露が発症の原因と考える必要がある。自然災害、工場での生死に関わる事故、職場における暴力・性的被害といった出来事は、「認定基準」において心理的負荷が「強」となる「特別な出来事」に該当すると考えられる。したがって、心的外傷後ストレス障害に関連する事案の多くは、その出来事の心理的負荷が考慮され、業務上と決定された事案が多いものと推察される。

なお、業務外事案という性質上、特に男性の自殺事案において、労災認定の対象となる精神障害の発病なしの事案、「認定基準」において業務に関連して発病する可能性のある精神障害とされている) F2~F4 以外の精神障害の発病が認められた事案も見受けられた。生前に精神科受診歴がなかった自殺事案の場合など、限られた情報に基づいて精神障害の診断をするのは困難を伴うものと考えられる。

業務外事案の出来事への該当状況を見ると、最も多かった出来事は「上司とのトラブル」であった。男性の自殺事案の約3割、生存事案の約4割、女性では生存死亡を問わず4割以上の事案において、経験した出来事（のひとつ）として上司とのトラブルが認められた。「認定基準」において、上司とのトラブルは、「業務をめぐる方針等において、周囲からも客観的に認識されるような大きな対立が上司との間に生じ、その後の業務に大きな支障をきたした」状態でなければ、これ単独では心理的負荷が「強」と判断されず、労災の認定要件を満たさない。また、上司からの指導・叱責が業務指導の範囲内かどうか、考え方の相違などによる対立がトラブルと認められるかどうかについて判断が難しい事案も多数含まれている。これらの点が、業務外事案において上司とのトラブルが顕著に多いことの背景にあると推察される。

本研究の対象は業務外事案であるが、「恒常的な長時間労働」、「1か月に80時間以上の時間外労働」を含む事案も少なからず見受けられた。これらの事案が業務外と決定されたのは、

(1)「恒常的な長時間労働」が認められる場合の総合評価において心理的負荷が「強」と判断されなかった、(2)出来事としての長時間労働として、発病直前の2か月連続で1月当たり120時間、又は3か月連続で1月当たり100時間以上の時間外労働という基準を満たしていなかった、などの理由による。本研究の対象は業務外事案であるため、1か月に160時間以上の時間外労働といった極度の長時間労働に該当した事案などは含まれていない。また、出来事への該当状況から察するに、業務外の自殺事案には長時間労働などによる過重な負荷が背景にあるいわゆる「過労自殺」とは異なる自殺事案が業務上よりも多い可能性が高い。とはいえ、平成23年12月策定の「認定基準」によって業務外と決定された事案においてだけでも、業務に起因する自殺であるとして労災請求された自殺事案が279件に上ったことは注目に値する。

本研究は、これまで詳細が報告されていなかった労災の不支給決定事案の実態に関するわが国で初めての報告である。今後、業務上・外を包括した労災請求事案全体を解析する観点から、業務上・外間で業種・職種、性別・年齢、疾患名、長時間労働やハラスメントなどの出来事、就業条件などの傾向を比較しつつ、過労自殺を含めた精神障害の労災請求事案の実態を解明することが必要と考えられる。

## E. 結論

本研究では、過去約5年間の脳・心臓疾患及び精神障害の業務外事案についてデータベースを構築し、これまで詳細が報告されていなかった脳・心臓疾患及び精神障害の業務外事案の実態をわが国で初めて報告した。今後、業務上・外を包括した労災請求事案全体を解析する観点から、データベースの拡充及びより詳細な実態分析が必要である。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

Yamauchi T, Yoshikawa T, Takamoto M, Sasaki T, Matsumoto S, Kayashima K, Takehisa T, Takahashi M. Overwork-related disorders in Japan: recent trends and development of a national policy to promote preventive measures. *Ind Health*. In press.

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

表1-1 請求時・発症時・死亡時年齢、決定時疾患名、前駆症状  
(業務外、脳・心臓疾患)

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
性別	1669		292		1961	
	(85.1)		(14.9)		(100)	
請求時年齢(M, SD)	53.5	10.7	53.8	11.1	53.6	10.8
発症時年齢(M, SD)	53.0	10.8	53.4	11.2	53.1	10.8
19-29歳	37	(2.2)	10	(3.4)	47	(2.4)
30-39歳	159	(9.5)	25	(8.6)	184	(9.4)
40-49歳	407	(24.4)	65	(22.3)	472	(24.1)
50-59歳	549	(32.9)	86	(29.6)	635	(32.4)
60-69歳	442	(26.5)	96	(33.0)	538	(27.4)
70歳以上	75	(4.5)	9	(3.1)	84	(4.3)
合計	1669	(100)	291	(100)	1960	(100)
死亡時年齢(M, SD)	52.0	10.8	52.2	12.3	52.1	11.0
20-29歳	22	(3.2)	5	(6.4)	27	(3.5)
30-39歳	73	(10.5)	8	(10.3)	81	(10.5)
40-49歳	180	(25.9)	15	(19.2)	195	(25.3)
50-59歳	218	(31.4)	25	(32.1)	243	(31.5)
60-69歳	177	(25.5)	24	(30.8)	201	(26.0)
70歳以上	24	(3.5)	1	(1.3)	25	(3.2)
合計	694	(100)	78	(100)	772	(100)
決定時疾患名*						
脳内出血(脳出血)	516	(30.4)	106	(35.5)	622	(31.2)
くも膜下出血	208	(12.3)	99	(33.1)	307	(15.4)
脳梗塞	254	(15.0)	32	(10.7)	286	(14.3)
心筋梗塞	293	(17.3)	11	(3.7)	304	(15.2)
心停止(心臓性突然死を含む。)	250	(14.7)	17	(5.7)	267	(13.4)
解離性大動脈瘤	82	(4.8)	14	(4.7)	96	(4.8)
高血圧性脳症	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)
狭心症	41	(2.4)	7	(2.3)	48	(2.4)
その他	51	(3.0)	12	(4.0)	63	(3.2)
脳・心臓疾患の両方	9	(0.5)	3	(1.0)	12	(0.6)
合計**	1695	(100)	299	(100)	1994	(100)
*: 複数の疾患を含めて集計。 **: 脳・心臓疾患の両方を除く。						
前駆症状						
無	1221	(73.2)	223	(76.4)	1444	(73.6)
有	284	(17.0)	48	(16.4)	332	(16.9)
頭痛	103	(6.2)	25	(8.6)	128	(6.5)
胸部痛	52	(3.1)	3	(1.0)	55	(2.8)
その他	148	(8.9)	25	(8.6)	173	(8.8)
記載なし/不明	164	(9.8)	21	(7.2)	185	(9.4)
合計	1669	(100)	292	(100)	1961	(100)

表1-2 業種(大分類)、職種(大分類) (業務外、脳・心臓疾患)

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
<b>業種(大分類)</b>						
運輸業, 郵便業	293	(17.7)	12	(4.2)	305	(15.7)
卸売業・小売業	237	(14.3)	62	(21.6)	299	(15.4)
製造業	249	(15.1)	27	(9.4)	276	(14.2)
建設業	310	(18.7)	4	(1.4)	314	(16.2)
サービス業(他に分類されないもの)	198	(12.0)	41	(14.3)	239	(12.3)
宿泊業, 飲食サービス業	44	(2.7)	37	(12.9)	81	(4.2)
情報通信業	43	(2.6)	5	(1.7)	48	(2.5)
医療, 福祉	50	(3.0)	71	(24.7)	121	(6.2)
学術研究, 専門・技術サービス業	56	(3.4)	3	(1.0)	59	(3.0)
生活関連サービス業, 娯楽業	36	(2.2)	8	(2.8)	44	(2.3)
不動産業, 物品賃貸業	27	(1.6)	2	(0.7)	29	(1.5)
教育, 学習支援業	29	(1.8)	8	(2.8)	37	(1.9)
漁業	15	(0.9)	0	(0.0)	15	(0.8)
金融業・保険業	19	(1.1)	2	(0.7)	21	(1.1)
農業, 林業	21	(1.3)	0	(0.0)	21	(1.1)
複合サービス事業	11	(0.7)	2	(0.7)	13	(0.7)
電気・ガス・熱供給・水道業	6	(0.4)	1	(0.3)	7	(0.4)
公務(他に分類されるものを除く)	6	(0.4)	2	(0.7)	8	(0.4)
分類不能の産業	3	(0.2)	0	(0.0)	3	(0.2)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)
合計	1654	(100)	287	(100)	1941	(100)
<b>職種(大分類)</b>						
輸送・機械運転従事者	255	(15.4)	5	(1.7)	260	(13.4)
専門的・技術的職業従事者	199	(12.0)	36	(12.5)	235	(12.1)
販売従事者	159	(9.6)	43	(15.0)	202	(10.4)
サービス職業従事者	145	(8.8)	104	(36.2)	249	(12.8)
管理的職業従事者	102	(6.2)	5	(1.7)	107	(5.5)
事務従事者	165	(10.0)	40	(13.9)	205	(10.6)
生産工程従事者	142	(8.6)	22	(7.7)	164	(8.4)
建設・採掘従事者	240	(14.5)	2	(0.7)	242	(12.5)
保安職業従事者	78	(4.7)	2	(0.7)	80	(4.1)
運搬・清掃・包装等従事者	91	(5.5)	26	(9.1)	117	(6.0)
農林漁業従事者	34	(2.1)	0	(0.0)	34	(1.8)
運輸・通信従事者	21	(1.3)	0	(0.0)	21	(1.1)
生産工程・労務作業(1-1 製造・制作作業)	7	(0.4)	0	(0.0)	7	(0.4)
生産工程・労務作業(1-3 採掘・建設・労務作業)	13	(0.8)	2	(0.7)	15	(0.8)
生産工程・労務作業(1-2 定置機関連・建設機械運転・電気作業)	2	(0.1)	0	(0.0)	2	(0.1)
分類不能の職業	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)
合計	1654	(100)	287	(100)	1941	(100)

表1-3 所定休日、出退勤の管理状況、就業規則等(業務外、脳・心臓疾患)

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
<b>所定休日</b>						
週休1日制	340	(20.4)	41	(14.0)	381	(19.4)
隔週週休2日制	119	(7.1)	12	(4.1)	131	(6.7)
完全週休2日制	468	(28.0)	77	(26.4)	545	(27.8)
記載なし/不明	742	(44.5)	162	(55.5)	904	(46.1)
合計	1669	(100)	292	(100)	1961	(100)
<b>出退勤の管理状況</b>						
タイムカード	395	(23.7)	134	(45.9)	529	(27.0)
出勤簿	497	(29.8)	75	(25.7)	572	(29.2)
管理者による確認	319	(19.1)	52	(17.8)	371	(18.9)
本人の申告	368	(22.0)	37	(12.7)	405	(20.7)
<b>就業規則</b>						
なし	322	(19.3)	36	(12.3)	358	(18.3)
あり	1175	(70.4)	233	(79.8)	1408	(71.8)
記載なし/不明	172	(10.3)	23	(7.9)	195	(9.9)
合計	1669	(100)	292	(423)	1961	(100)
<b>賃金規程</b>						
なし	343	(20.6)	46	(15.8)	389	(19.8)
あり	1020	(61.1)	202	(69.2)	1222	(62.3)
記載なし/不明	306	(18.3)	44	(15.1)	350	(17.8)
合計	1669	(100)	292	(423)	1961	(100)
<b>健康診断</b>						
なし	399	(23.9)	91	(31.2)	490	(25.0)
あり	1176	(70.5)	190	(65.1)	1366	(69.7)
記載なし/不明	94	(5.6)	11	(3.8)	105	(5.4)
合計	1669	(100)	292	(423)	1961	(100)
<b>面接指導</b>						
なし	1344	(80.5)	245	(83.9)	1589	(81.0)
あり	26	(1.6)	2	(0.7)	28	(1.4)
記載なし/不明	299	(17.9)	45	(15.4)	344	(17.5)
合計	1669	(100)	292	(423)	1961	(100)
<b>既往歴</b>						
なし	686	(41.1)	135	(46.2)	821	(41.9)
あり	842	(50.4)	131	(44.9)	973	(49.6)
記載なし/不明	141	(8.4)	26	(8.9)	167	(8.5)
合計	1669	(100)	292	(423)	1961	(100)

表1-4 発症6か月前の労働時間以外の負荷要因・時間外労働時間数  
(業務外、脳・心臓疾患)

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
発症前6か月の不規則な勤務	84	(5.0)	16	(5.5)	100	(5.1)
発症前6か月の拘束時間の長い勤務	186	(11.1)	17	(5.8)	203	(10.4)
発症前6か月の出張の多い業務	115	(6.9)	8	(2.7)	123	(6.3)
発症前6か月の交代勤務・深夜勤務	195	(11.7)	37	(12.7)	232	(11.8)
発症前6か月の作業環境(温度、騒音、時差)	153	(9.2)	28	(9.6)	181	(9.2)
発症前6か月の温度	38	(2.3)	5	(1.7)	43	(2.2)
発症前6か月の騒音	6	(0.4)	0	(0.0)	6	(0.3)
発症前6か月の時差	2	(0.1)	0	(0.0)	2	(0.1)
発症前6か月の精神的緊張を伴う業務	114	(6.8)	19	(6.5)	133	(6.8)
発症前1か月の時間外労働時間数	(N, M)	1578 30.9	281 19.0	1859 29.1		
	(Max)	221.0	148.3	221.0		
発症前2か月の時間外労働時間数	(N, M)	1566 31.2	280 17.8	1846 29.2		
	(Max)	187.5	111.8	187.5		
発症前3か月の時間外労働時間数	(N, M)	1554 31.4	278 17.6	1832 29.3		
	(Max)	176.5	135.3	176.5		
発症前4か月の時間外労働時間数	(N, M)	1537 31.4	277 18.6	1814 29.4		
	(Max)	153.0	133.0	153.0		
発症前5か月の時間外労働時間数	(N, M)	1525 31.8	277 18.5	1802 29.8		
	(Max)	193.5	132.0	193.5		
発症前6か月の時間外労働時間数	(N, M)	1516 32.4	275 18.0	1791 30.2		
	(Max)	265.5	115.3	265.5		

表1-5 決定時6疾患と年齢、業種、職種のクロス集計結果(全体) (業務外、脳・心臓疾患)

	脳内出血 (脳出血)		くも膜下出血		脳梗塞		心筋梗塞		心停止 (心臓性突然 死を含む。)		解離性 大動脈瘤		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
<b>性別</b>														
男	516	(83.0)	208	(67.8)	254	(88.8)	293	(96.4)	250	(93.6)	82	(85.4)	1603	(85.2)
女	106	(17.0)	99	(32.2)	32	(11.2)	11	(3.6)	17	(6.4)	14	(14.6)	279	(14.8)
合計	622	(100)	307	(100)	286	(100)	304	(100)	267	(100)	96	(100)	1882	(100)
<b>発症時年齢</b>														
20-29歳	8	(1.3)	4	(1.3)	2	(0.7)	2	(0.7)	25	(9.4)	1	(1.0)	42	(2.2)
30-39歳	46	(7.4)	34	(11.1)	21	(7.3)	24	(7.9)	46	(17.2)	8	(8.3)	179	(9.5)
40-49歳	148	(23.8)	102	(33.2)	49	(17.1)	59	(19.4)	68	(25.5)	17	(17.7)	443	(23.5)
50-59歳	231	(37.1)	99	(32.2)	89	(31.1)	106	(34.9)	59	(22.1)	36	(37.5)	620	(32.9)
60-69歳	164	(26.4)	64	(20.8)	103	(36.0)	103	(33.9)	59	(22.1)	27	(28.1)	520	(27.6)
70歳以上	25	(4.0)	4	(1.3)	22	(7.7)	10	(3.3)	10	(3.7)	7	(7.3)	78	(4.1)
合計	622	(100)	307	(100)	286	(100)	304	(100)	267	(100)	96	(100)	1882	(100)
<b>業種(大分類)</b>														
運輸業、郵便業	85	(27.9)	49	(16.1)	53	(17.4)	56	(18.4)	36	(11.8)	17	(5.6)	296	(100)
卸売業・小売業	116	(38.8)	53	(17.7)	29	(9.7)	28	(9.4)	50	(16.7)	16	(5.4)	292	(100)
製造業	98	(35.5)	41	(14.9)	42	(15.2)	34	(12.3)	39	(14.1)	13	(4.7)	267	(100)
建設業	87	(27.7)	41	(13.1)	54	(17.2)	61	(19.4)	42	(13.4)	21	(6.7)	306	(100)
サービス業(他に分類されないもの)	66	(27.6)	27	(11.3)	45	(18.8)	41	(17.2)	33	(13.8)	17	(7.1)	229	(100)
宿泊業、飲食サービス業	29	(35.8)	19	(23.5)	8	(9.9)	9	(11.1)	6	(7.4)	2	(2.5)	73	(100)
情報通信業	14	(29.2)	9	(18.8)	7	(14.6)	5	(10.4)	10	(20.8)	1	(2.1)	46	(100)
医療、福祉	35	(28.9)	31	(25.6)	18	(14.9)	15	(12.4)	17	(14.0)	2	(1.7)	118	(100)
学術研究、専門・技術サービス業	15	(25.4)	8	(13.6)	8	(13.6)	16	(27.1)	5	(8.5)	2	(3.4)	54	(100)
生活関連サービス業、娯楽業	18	(40.9)	6	(13.6)	2	(4.5)	8	(18.2)	6	(13.6)	1	(2.3)	41	(100)
不動産業、物品賃貸業	13	(44.8)	4	(13.8)	2	(6.9)	3	(10.3)	5	(17.2)	0	(0.0)	27	(100)
教育、学習支援業	14	(37.8)	9	(24.3)	2	(5.4)	2	(5.4)	7	(18.9)	0	(0.0)	34	(100)
漁業	3	(20.0)	2	(13.3)	3	(20.0)	5	(33.3)	1	(6.7)	0	(0.0)	14	(100)
金融業・保険業	7	(33.3)	3	(14.3)	2	(9.5)	3	(14.3)	3	(14.3)	2	(9.5)	20	(100)
農業、林業	9	(42.9)	2	(9.5)	3	(14.3)	5	(23.8)	1	(4.8)	1	(4.8)	21	(100)
複合サービス事業	5	(38.5)	2	(15.4)	2	(15.4)	3	(23.1)	1	(7.7)	0	(0.0)	13	(100)
電気・ガス・熱供給・水道業	3	(42.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(28.6)	1	(14.3)	1	(14.3)	7	(100)
公務(他に分類されるものを除く)	2	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(100)
分類不能の産業	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(66.7)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	3	(100)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
合計	619	(31.9)	306	(15.8)	282	(14.5)	300	(15.5)	264	(13.6)	96	(4.9)	1867	(100)
<b>職種(大分類)</b>														
輸送・機械運転従事者	75	(28.8)	36	(13.8)	47	(18.1)	48	(18.5)	34	(13.1)	13	(5.0)	253	(100)
専門的・技術的職業従事者	65	(27.7)	39	(16.6)	31	(13.2)	39	(16.6)	36	(15.3)	9	(3.8)	219	(100)
販売従事者	76	(37.6)	34	(16.8)	19	(9.4)	20	(9.9)	32	(15.8)	10	(5.0)	191	(100)
サービス職業従事者	87	(34.9)	53	(21.3)	25	(10.0)	30	(12.0)	31	(12.4)	11	(4.4)	237	(100)
管理的職業従事者	36	(33.6)	17	(15.9)	16	(15.0)	18	(16.8)	12	(11.2)	8	(7.5)	107	(100)
事務従事者	65	(31.7)	47	(22.9)	25	(12.2)	24	(11.7)	33	(16.1)	6	(2.9)	200	(100)
生産工程従事者	56	(34.1)	25	(15.2)	24	(14.6)	20	(12.2)	23	(14.0)	10	(6.1)	158	(100)
建設・採掘従事者	69	(28.5)	26	(10.7)	39	(16.1)	55	(22.7)	31	(12.8)	15	(6.2)	235	(100)
保安職業従事者	22	(27.5)	2	(2.5)	20	(25.0)	18	(22.5)	9	(11.3)	5	(6.3)	76	(100)
運搬・清掃・包装等従事者	45	(38.5)	15	(12.8)	20	(17.1)	14	(12.0)	12	(10.3)	7	(6.0)	113	(100)
農林漁業従事者	13	(38.2)	4	(11.8)	6	(17.6)	7	(20.6)	2	(5.9)	1	(2.9)	33	(100)
運輸・通信従事者	4	(19.0)	4	(19.0)	4	(19.0)	4	(19.0)	4	(19.0)	0	(0.0)	20	(100)
生産工程・労務作業者(1-1 製造・制作作業者)	3	(42.9)	2	(28.6)	1	(14.3)	1	(14.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	7	(100)
生産工程・労務作業者(1-3 採掘・建設・労務作業者)	3	(20.0)	2	(13.3)	4	(26.7)	1	(6.7)	4	(26.7)	1	(6.7)	15	(100)
生産工程・労務作業者(1-2 定置機運転・建設機械運転・電気作業者)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	1	(100)
合計	619	(31.9)	306	(15.8)	282	(14.5)	300	(15.5)	264	(13.6)	96	(4.9)	1867	(100)

注) 調査復命書の記載内容から、認定対象外疾患又は業種・職種が特定されない事案を除いて算出

表1-6 決定時6疾患と年齢、業種、職種のカロス集計結果(男性) (業務外、脳・心臓疾患)

	脳内出血 (脳出血)		くも膜下出血		脳梗塞		心筋梗塞		心停止 (心臓性突然 死を含む。)		解離性 大動脈瘤		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
<b>発症時年齢</b>														
20-29歳	8	( 1.6)	2	( 1.0)	1	( 0.4)	1	( 0.3)	21	( 8.4)	1	( 1.2)	34	(2.1)
30-39歳	36	( 7.0)	23	(11.1)	19	( 7.5)	22	( 7.5)	46	(18.4)	8	( 9.8)	154	(9.6)
40-49歳	130	(25.2)	77	(37.0)	40	(15.7)	57	(19.5)	62	(24.8)	17	(20.7)	383	(23.9)
50-59歳	190	(36.8)	69	(33.2)	85	(33.5)	103	(35.2)	56	(22.4)	31	(37.8)	534	(33.3)
60-69歳	130	(25.2)	34	(16.3)	90	(35.4)	100	(34.1)	55	(22.0)	20	(24.4)	429	(26.8)
70歳以上	22	( 4.3)	3	( 1.4)	19	( 7.5)	10	( 3.4)	10	( 4.0)	5	( 6.1)	69	(4.3)
合計	516	(100)	208	(100)	254	(100)	293	(100)	250	(100)	82	(100)	1603	(100)
<b>業種(大分類)</b>														
運輸業, 郵便業	84	(28.7)	42	(14.3)	53	(18.1)	55	(18.8)	35	(11.9)	15	( 5.1)	284	(100)
卸売業・小売業	89	(37.6)	31	(13.1)	23	( 9.7)	26	(11.0)	47	(19.8)	14	( 5.9)	230	(100)
製造業	86	(34.5)	36	(14.5)	38	(15.3)	32	(12.9)	38	(15.3)	10	( 4.0)	240	(100)
建設業	86	(27.7)	39	(12.6)	53	(17.1)	61	(19.7)	42	(13.5)	21	( 6.8)	302	(100)
サービス業(他に分類されないもの)	56	(28.3)	15	( 7.6)	38	(19.2)	41	(20.7)	27	(13.6)	13	( 6.6)	190	(100)
宿泊業, 飲食サービス業	15	(34.1)	7	(15.9)	4	( 9.1)	8	(18.2)	5	(11.4)	1	( 2.3)	40	(100)
情報通信業	12	(27.9)	7	(16.3)	7	(16.3)	5	(11.6)	9	(20.9)	1	( 2.3)	41	(100)
医療, 福祉	9	(18.0)	6	(12.0)	11	(22.0)	10	(20.0)	13	(26.0)	1	( 2.0)	50	(100)
学術研究, 専門・技術サービス業	14	(25.0)	6	(10.7)	8	(14.3)	16	(28.6)	5	( 8.9)	2	( 3.6)	51	(100)
生活関連サービス業, 娯楽業	16	(44.4)	2	( 5.6)	1	( 2.8)	8	(22.2)	6	(16.7)	0	( 0.0)	33	(100)
不動産業, 物品賃貸業	12	(44.4)	3	(11.1)	2	( 7.4)	3	(11.1)	5	(18.5)	0	( 0.0)	25	(100)
教育, 学習支援業	11	(37.9)	5	(17.2)	1	( 3.4)	2	( 6.9)	7	(24.1)	0	( 0.0)	26	(100)
漁業	3	(20.0)	2	(13.3)	3	(20.0)	5	(33.3)	1	( 6.7)	0	( 0.0)	14	(100)
金融業・保険業	6	(31.6)	3	(15.8)	2	(10.5)	3	(15.8)	3	(15.8)	2	(10.5)	19	(100)
農業, 林業	9	(42.9)	2	( 9.5)	3	(14.3)	5	(23.8)	1	( 4.8)	1	( 4.8)	21	(100)
複合サービス事業	3	(27.3)	2	(18.2)	2	(18.2)	3	(27.3)	1	( 9.1)	0	( 0.0)	11	(100)
電気・ガス・熱供給・水道業	2	(33.3)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	2	(33.3)	1	(16.7)	1	(16.7)	6	(100)
公務(他に分類されるものを除く)	1	(16.7)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	4	(66.7)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	5	(100)
分類不能の産業	0	( 0.0)	0	( 0.0)	2	(66.7)	0	( 0.0)	1	(33.3)	0	( 0.0)	3	(100)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	(100)
合計	514	(31.1)	208	(12.6)	251	(15.2)	289	(17.5)	247	(14.9)	82	( 5.0)	1591	(100)
<b>職種(大分類)</b>														
輸送・機械運転従事者	75	(29.4)	34	(13.3)	47	(18.4)	48	(18.8)	33	(12.9)	11	( 4.3)	248	(100)
専門的・技術的職業従事者	53	(26.6)	27	(13.6)	27	(13.6)	38	(19.1)	34	(17.1)	8	( 4.0)	187	(100)
販売従事者	57	(35.8)	21	(13.2)	15	( 9.4)	19	(11.9)	27	(17.0)	10	( 6.3)	149	(100)
サービス職業従事者	49	(33.8)	14	( 9.7)	16	(11.0)	25	(17.2)	27	(18.6)	6	( 4.1)	137	(100)
管理的職業従事者	35	(34.3)	15	(14.7)	15	(14.7)	18	(17.6)	12	(11.8)	7	( 6.9)	102	(100)
事務従事者	51	(30.9)	29	(17.6)	21	(12.7)	23	(13.9)	32	(19.4)	5	( 3.0)	161	(100)
生産工程従事者	45	(31.7)	21	(14.8)	22	(15.5)	18	(12.7)	22	(15.5)	8	( 5.6)	136	(100)
建設・採掘従事者	68	(28.3)	26	(10.8)	38	(15.8)	55	(22.9)	31	(12.9)	15	( 6.3)	233	(100)
保安職業従事者	22	(28.2)	2	( 2.6)	20	(25.6)	18	(23.1)	8	(10.3)	5	( 6.4)	75	(100)
運搬・清掃・包装等従事者	36	(39.6)	7	( 7.7)	15	(16.5)	13	(14.3)	11	(12.1)	5	( 5.5)	87	(100)
農林漁業従事者	13	(38.2)	4	(11.8)	6	(17.6)	7	(20.6)	2	( 5.9)	1	( 2.9)	33	(100)
運輸・通信従事者	4	(19.0)	4	(19.0)	4	(19.0)	4	(19.0)	4	(19.0)	0	( 0.0)	20	(100)
生産工程・労務作業(1-1 製造・制作作業)	3	(42.9)	2	(28.6)	1	(14.3)	1	(14.3)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	7	(100)
生産工程・労務作業(1-3 採掘・建設・労務作業)	3	(23.1)	2	(15.4)	3	(23.1)	1	( 7.7)	3	(23.1)	1	( 7.7)	13	(100)
生産工程・労務作業(1-2 定置機運転・建設機運転・電気作業)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	1	(50.0)	1	(50.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	2	(100)
分類不能の職業	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	0	( 0.0)	1	(100.0)	0	( 0.0)	1	(100)
合計	514	(31.1)	208	(12.6)	251	(15.2)	289	(17.5)	247	(14.9)	82	( 5.0)	1591	(100)

注) 調査復命書の記載内容から、認定対象外疾患又は業種・職種が特定されない事案を除いて算出

表1-7 決定時6疾患と年齢、業種、職種のカロス集計結果(女性) (業務外、脳・心臓疾患)

	脳内出血 (脳出血)		くも膜下出血		脳梗塞		心筋梗塞		心停止 (心臓性突然 死を含む。)		解離性 大動脈瘤		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
<b>発症時年齢</b>														
20-29歳	0	(0.0)	2	(2.0)	1	(3.1)	1	(9.1)	4	(23.5)	0	(0.0)	8	(2.9)
30-39歳	10	(9.4)	11	(11.1)	2	(6.3)	2	(18.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	25	(9.0)
40-49歳	18	(17.0)	25	(25.3)	9	(28.1)	2	(18.2)	6	(35.3)	0	(0.0)	60	(21.5)
50-59歳	41	(38.7)	30	(30.3)	4	(12.5)	3	(27.3)	3	(17.6)	5	(35.7)	86	(30.8)
60-69歳	34	(32.1)	30	(30.3)	13	(40.6)	3	(27.3)	4	(23.5)	7	(50.0)	91	(32.6)
70歳以上	3	(2.8)	1	(1.0)	3	(9.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(14.3)	9	(3.2)
合計	106	(100)	99	(100)	32	(100)	11	(100)	17	(100)	14	(100)	279	(100)
<b>業種(大分類)</b>														
運輸業、郵便業	1	(8.3)	7	(58.3)	0	(0.0)	1	(8.3)	1	(8.3)	2	(16.7)	12	(100)
卸売業・小売業	27	(43.5)	22	(35.5)	6	(9.7)	2	(3.2)	3	(4.8)	2	(3.2)	62	(100)
製造業	12	(44.4)	5	(18.5)	4	(14.8)	2	(7.4)	1	(3.7)	3	(11.1)	27	(100)
建設業	1	(25.0)	2	(50.0)	1	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(100)
サービス業(他に分類されないもの)	10	(24.4)	12	(29.3)	7	(17.1)	0	(0.0)	6	(14.6)	4	(9.8)	39	(100)
宿泊業、飲食サービス業	14	(37.8)	12	(32.4)	4	(10.8)	1	(2.7)	1	(2.7)	1	(2.7)	33	(100)
情報通信業	2	(40.0)	2	(40.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(20.0)	0	(0.0)	5	(100)
医療、福祉	26	(36.6)	25	(35.2)	7	(9.9)	5	(7.0)	4	(5.6)	1	(1.4)	68	(100)
学術研究、専門・技術サービス業	1	(33.3)	2	(66.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(100)
生活関連サービス業、娯楽業	2	(25.0)	4	(50.0)	1	(12.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(12.5)	8	(100)
不動産業、物品賃貸業	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
教育、学習支援業	3	(37.5)	4	(50.0)	1	(12.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(100)
漁業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
金融業・保険業	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
農業、林業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
複合サービス事業	2	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
電気・ガス・熱供給・水道業	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
公務(他に分類されるものを除く)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
分類不能の産業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
合計	105	(36.6)	98	(34.1)	31	(10.8)	11	(3.8)	17	(5.9)	14	(4.9)	276	(100)
<b>職種(大分類)</b>														
輸送・機械運転従事者	0	(0.0)	2	(40.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(20.0)	2	(40.0)	5	(100)
専門的・技術的職業従事者	12	(33.3)	12	(33.3)	4	(11.1)	1	(2.8)	2	(5.6)	1	(2.8)	32	(100)
販売従事者	19	(44.2)	13	(30.2)	4	(9.3)	1	(2.3)	5	(11.6)	0	(0.0)	42	(100)
サービス職業従事者	38	(36.5)	39	(37.5)	9	(8.7)	5	(4.8)	4	(3.8)	5	(4.8)	100	(100)
管理的職業従事者	1	(20.0)	2	(40.0)	1	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(20.0)	5	(100)
事務従事者	14	(35.0)	18	(45.0)	4	(10.0)	1	(2.5)	1	(2.5)	1	(2.5)	39	(100)
生産工程従事者	11	(50.0)	4	(18.2)	2	(9.1)	2	(9.1)	1	(4.5)	2	(9.1)	22	(100)
建設・採掘従事者	1	(50.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
保安職業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	1	(100)
運搬・清掃・包装等従事者	9	(34.6)	8	(30.8)	5	(19.2)	1	(3.8)	1	(3.8)	2	(7.7)	26	(100)
農林漁業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
運輸・通信従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
生産工程・労務作業(1-1 製造・制作作業)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
生産工程・労務作業(1-3 採掘・建設・労務作業)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	2	(100)
生産工程・労務作業(1-2 定置機運転・建設機運転・電気作業)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0)
合計	105	(36.6)	98	(34.1)	31	(10.8)	11	(3.8)	17	(5.9)	14	(4.9)	276	(100)

注) 調査復命書の記載内容から、認定対象外疾患又は業種・職種が特定されない事案を除いて算出

表2-1 性別に見た事案の年齢分布及び平均年齢(業務外精神事案)

	男性		女性		全体	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	1306	(60.1)	868	(39.9)	2174	(100)
請求時年齢(M, SD)	41.6	10.5	40.7	10.9	41.2	10.7
発病時年齢(M, SD)	39.3	10.5	39.2	10.9	39.3	10.7
29歳以下	250	(20.1)	191	(22.3)	441	(21.0)
30-39歳	398	(32.0)	250	(29.2)	648	(30.9)
40-49歳	378	(30.4)	269	(31.4)	647	(30.8)
50-59歳	181	(14.6)	110	(12.9)	291	(13.9)
60-69歳	36	(2.9)	36	(4.2)	72	(3.4)
合計	1243	(100)	856	(100)	2099	(100)
死亡時年齢(M, SD)	39.0	11.3	33.5	11.2	38.4	11.4
29歳以下	66	(26.7)	15	(46.9)	81	(29.0)
30-39歳	63	(25.5)	8	(25.0)	71	(25.4)
40-49歳	66	(26.7)	6	(18.8)	72	(25.8)
50-59歳	48	(19.4)	2	(6.3)	50	(17.9)
60-69歳	4	(1.6)	1	(3.1)	5	(1.8)
合計	247	(100)	32	(100)	279	(100)

注) 調査復命書の記載内容から、発病時の年齢が明確に特定されなかった事案を除外して算出

表2-2 性別に見た事業場の労働者数、業種(大分類)及び職種(大分類)の分布(業務外精神事案)

	男性		女性		全体	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
<b>業種(大分類)</b>						
製造業	284	(21.7)	91	(10.5)	375	(17.2)
卸売業・小売業	203	(15.5)	155	(17.9)	358	(16.5)
医療, 福祉	102	(7.8)	256	(29.5)	358	(16.5)
運輸業, 郵便業	151	(11.6)	40	(4.6)	191	(8.8)
建設業	90	(6.9)	9	(1.0)	99	(4.6)
サービス業(他に分類されないもの)	126	(9.6)	99	(11.4)	225	(10.3)
宿泊業, 飲食サービス業	33	(2.5)	30	(3.5)	63	(2.9)
情報通信業	80	(6.1)	31	(3.6)	111	(5.1)
学術研究, 専門・技術サービス業	57	(4.4)	28	(3.2)	85	(3.9)
教育, 学習支援業	28	(2.1)	33	(3.8)	61	(2.8)
金融業・保険業	47	(3.6)	30	(3.5)	77	(3.5)
不動産業, 物品賃貸業	32	(2.5)	12	(1.4)	44	(2.0)
生活関連サービス業, 娯楽業	24	(1.8)	31	(3.6)	55	(2.5)
農業, 林業	7	(0.5)	1	(0.1)	8	(0.4)
複合サービス事業	17	(1.3)	7	(0.8)	24	(1.1)
電気・ガス・熱供給・水道業	7	(0.5)	0	(0.0)	7	(0.3)
漁業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	3	(0.2)	0	(0.0)	3	(0.1)
公務(他に分類されるものを除く)	5	(0.4)	4	(0.5)	9	(0.4)
分類不能・不詳	10	(0.8)	11	(1.3)	21	(1.0)
合計	1306	(100)	868	(100)	2174	(100)
<b>職種(大分類)</b>						
専門的・技術的職業従事者	260	(20.1)	214	(25.0)	474	(22.0)
事務従事者	322	(24.8)	303	(35.4)	625	(29.0)
販売従事者	161	(12.4)	96	(11.2)	257	(11.9)
サービス職業従事者	101	(7.8)	135	(15.8)	236	(11.0)
生産工程従事者	172	(13.3)	52	(6.1)	224	(10.4)
管理的職業従事者	59	(4.6)	15	(1.8)	74	(3.4)
輸送・機械運転従事者	96	(7.4)	14	(1.6)	110	(5.1)
建設・採掘従事者	56	(4.3)	0	(0.0)	56	(2.6)
運搬・清掃・包装等従事者	49	(3.8)	22	(2.6)	71	(3.3)
農林漁業従事者	6	(0.5)	1	(0.1)	7	(0.3)
保安職業従事者	13	(1.0)	5	(0.6)	18	(0.8)
分類不能・不詳	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	1296	(100)	857	(100)	2153	(100)

表2-3 性・生存死亡別の精神障害

	男 (n=1306)				女 (n=868)			
	生存		死亡		生存		死亡	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	1059		247		836		32	
発病時年齢 (M, SD)	39.5	10.4	38.7	11.3	39.4	10.8	33.9	12.0
疾患名								
<b>F30-F39: 気分[感情]障害</b>	<b>489</b>	<b>46.2%</b>	<b>149</b>	<b>60.3%</b>	<b>258</b>	<b>30.9%</b>	<b>18</b>	<b>56.3%</b>
F30 躁病エピソード	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F31 双極性感情障害	56	5.3%	3	1.2%	21	2.5%	0	0.0%
F32 うつ病エピソード	321	30.3%	112	45.3%	177	21.2%	15	46.9%
F33 反復性うつ病性障害	35	3.3%	15	6.1%	17	2.0%	2	6.3%
F34 持続性気分(感情)障害	23	2.2%	6	2.4%	14	1.7%	0	0.0%
F38 その他の気分(感情)障害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F39 詳細不明の気分(感情)障害	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%
下位分類不明	52	4.9%	13	5.3%	27	3.2%	1	3.1%
<b>F40-F48: 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害</b>	<b>504</b>	<b>47.6%</b>	<b>34</b>	<b>13.8%</b>	<b>533</b>	<b>63.8%</b>	<b>5</b>	<b>15.6%</b>
F40 恐怖症性不安障害	7	0.7%	1	0.4%	5	0.6%	0	0.0%
F41 その他の不安障害	60	5.7%	2	0.8%	66	7.9%	0	0.0%
F42 強迫性障害	4	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F43 重度ストレスへの反応及び適応障害								
F43.0 急性ストレス反応	9	0.8%	1	0.4%	20	2.4%	0	0.0%
F43.1 心的外傷後ストレス障害	11	1.0%	0	0.0%	13	1.6%	0	0.0%
F43.2 適応障害	316	29.8%	29	11.7%	310	37.1%	5	15.6%
F43以下の下位分類不明	18	1.7%	1	0.4%	28	3.3%	0	0.0%
F44 解離性(転換性)障害	9	0.8%	0	0.0%	5	0.6%	0	0.0%
F45 身体表現性障害	26	2.5%	0	0.0%	26	3.1%	0	0.0%
F48 その他の神経症性障害	5	0.5%	0	0.0%	5	0.6%	0	0.0%
下位分類不明	39	3.7%	0	0.0%	55	6.6%	0	0.0%
<b>F2: 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害</b>	<b>46</b>	<b>4.3%</b>	<b>6</b>	<b>2.4%</b>	<b>36</b>	<b>4.3%</b>	<b>1</b>	<b>3.1%</b>
その他の疾患	11	1.0%	4	1.6%	6	0.7%	2	6.3%
発病なし	9	0.8%	32	13.0%	2	0.2%	1	3.1%
特定不能	0	0.0%	22	8.9%	1	0.1%	5	15.6%

表2-4 性・請求時年齢別の精神障害

	男 (n=1306)				女 (n=868)			
	40歳未満		40歳以上		40歳未満		40歳以上	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	547		759		397		471	
疾患名								
<b>F30-F39: 気分[感情]障害</b>	<b>256</b>	<b>46.8%</b>	<b>382</b>	<b>50.3%</b>	<b>114</b>	<b>28.7%</b>	<b>162</b>	<b>34.4%</b>
F30 躁病エピソード	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
F31 双極性感情障害	25	4.6%	34	4.5%	10	2.5%	11	2.3%
F32 うつ病エピソード	190	34.7%	243	32.0%	74	18.6%	118	25.1%
F33 反復性うつ病性障害	9	1.6%	41	5.4%	9	2.3%	10	2.1%
F34 持続性気分(感情)障害	10	1.8%	19	2.5%	6	1.5%	8	1.7%
F38 その他の気分(感情)障害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F39 詳細不明の気分(感情)障害	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%
下位分類不明	21	3.8%	44	5.8%	13	3.3%	15	3.2%
<b>F40-F48: 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害</b>	<b>228</b>	<b>41.7%</b>	<b>310</b>	<b>40.8%</b>	<b>255</b>	<b>64.2%</b>	<b>283</b>	<b>60.1%</b>
F40 恐怖症性不安障害	7	1.3%	1	0.1%	3	0.8%	2	0.4%
F41 その他の不安障害	16	2.9%	46	6.1%	32	8.1%	34	7.2%
F42 強迫性障害	2	0.4%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
F43 重度ストレスへの反応及び適応障害								
F43.0 急性ストレス反応	3	0.5%	7	0.9%	10	2.5%	10	2.1%
F43.1 心的外傷後ストレス障害	7	1.3%	4	0.5%	8	2.0%	5	1.1%
F43.2 適応障害	157	28.7%	188	24.8%	153	38.5%	162	34.4%
F43以下の下位分類不明	7	1.3%	12	1.6%	14	3.5%	14	3.0%
F44 解離性(転換性)障害	7	1.3%	2	0.3%	2	0.5%	3	0.6%
F45 身体表現性障害	8	1.5%	18	2.4%	11	2.8%	15	3.2%
F48 その他の神経症性障害	2	0.4%	3	0.4%	3	0.8%	2	0.4%
下位分類不明	12	2.2%	27	3.6%	19	4.8%	36	7.6%
<b>F2: 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害</b>	<b>27</b>	<b>4.9%</b>	<b>25</b>	<b>3.3%</b>	<b>17</b>	<b>4.3%</b>	<b>20</b>	<b>4.2%</b>
その他の疾患	4	0.7%	11	1.4%	4	1.0%	4	0.8%
発病なし	18	3.3%	23	3.0%	2	0.5%	1	0.2%
特定不能	14	2.6%	8	1.1%	5	1.3%	1	0.2%

表2-5 性・生存死亡別の出来事 \*1(業務外精神事案)

事案数		男				女				
		生存		死亡		生存		死亡		
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
特別な出来事		1059		247		836		32		
	心理的負荷が極度のもの	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	極度の長時間労働	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	恒常的な長時間労働	28	2.6%	9	3.6%	9	1.1%	0	0.0%	
出来事の種類	No. 具体的出来事 *2									
①事故や災害の体験	1 (重度の) 病気やケガをした	111	10.5%	3	1.2%	80	9.6%	0	0.0%	
	2 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	68	6.4%	2	0.8%	84	10.0%	0	0.0%	
②仕事の失敗、過重な責任等の発生	3 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	17	1.6%	3	1.2%	9	1.1%	0	0.0%	
	4 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	50	4.7%	28	11.3%	25	3.0%	5	15.6%	
	5 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	21	2.0%	6	2.4%	8	1.0%	0	0.0%	
	6 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	10	0.9%	7	2.8%	2	0.2%	0	0.0%	
	7 業務に関連し、違法行為を強要された	37	3.5%	2	0.8%	19	2.3%	2	6.3%	
	8 達成困難なノルマが課された	58	5.5%	18	7.3%	20	2.4%	2	6.3%	
	9 ノルマが達成できなかった	30	2.8%	9	3.6%	8	1.0%	1	3.1%	
	10 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	11	1.0%	4	1.6%	9	1.1%	1	3.1%	
	11 顧客や取引先から無理な注文を受けた	18	1.7%	2	0.8%	5	0.6%	0	0.0%	
	12 顧客や取引先からクレームを受けた	56	5.3%	16	6.5%	34	4.1%	0	0.0%	
	13 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	11	1.0%	1	0.4%	2	0.2%	0	0.0%	
	14 上司が不在になることにより、その代行を任された	10	0.9%	5	2.0%	6	0.7%	0	0.0%	
	③仕事の量・質	15 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	203	19.2%	61	24.7%	110	13.2%	10	31.3%
		16 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	59	5.6%	34	13.8%	20	2.4%	2	6.3%
17 2週間にわたって連続勤務を行った		54	5.1%	15	6.1%	11	1.3%	0	0.0%	
18 勤務形態に変化があった		20	1.9%	5	2.0%	12	1.4%	3	9.4%	
19 仕事のペース、活動の変化があった		12	1.1%	4	1.6%	10	1.2%	0	0.0%	
④役割・地位の変化等	20 退職を強要された	79	7.5%	6	2.4%	53	6.3%	0	0.0%	
	21 配置転換があった	137	12.9%	36	14.6%	88	10.5%	4	12.5%	
	22 転勤をした	23	2.2%	17	6.9%	5	0.6%	0	0.0%	
	23 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	14	1.3%	4	1.6%	13	1.6%	0	0.0%	
	24 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	17	1.6%	2	0.8%	10	1.2%	1	3.1%	
	25 自分の昇格・昇進があった	18	1.7%	18	7.3%	16	1.9%	1	3.1%	
	26 部下が減った	8	0.8%	5	2.0%	6	0.7%	0	0.0%	
	27 早期退職制度の対象となった	4	0.4%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	
28 非正規社員である自分の契約満了が迫った	9	0.8%	0	0.0%	9	1.1%	0	0.0%		
⑤対人関係	29 (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	146	13.8%	22	8.9%	159	19.0%	6	18.8%	
	30 上司とのトラブルがあった	443	41.8%	77	31.2%	383	45.8%	15	46.9%	
	31 同僚とのトラブルがあった	97	9.2%	8	3.2%	114	13.6%	6	18.8%	
	32 部下とのトラブルがあった	22	2.1%	5	2.0%	10	1.2%	1	3.1%	
	33 理解してくれていた人の異動があった	11	1.0%	4	1.6%	19	2.3%	3	9.4%	
	34 上司が替わった	11	1.0%	8	3.2%	13	1.6%	0	0.0%	
	35 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	9	0.8%	4	1.6%	3	0.4%	0	0.0%	
⑥セクシュアルハラスメント	36 セクシュアルハラスメントを受けた	5	0.5%	1	0.4%	97	11.6%	3	9.4%	

表2-6 性・請求時年齢別の出来事 \*1(業務外精神事案)

事案数		男				女				
		40歳未満		40歳以上		40歳未満		40歳以上		
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
		547		759		397		471		
特別な出来事										
	心理的負荷が極度のもの	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	極度の長時間労働	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	恒常的な長時間労働	15	2.7%	22	2.9%	4	1.0%	5	1.1%	
出来事の類型 No. 具体的な出来事 *2										
①事故や災害の体験	1 (重度の) 病気やケガをした	43	7.9%	71	9.4%	30	7.6%	50	10.6%	
	2 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	26	4.8%	44	5.8%	40	10.1%	44	9.3%	
②仕事の失敗、過重な責任等の発生	3 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	10	1.8%	10	1.3%	5	1.3%	4	0.8%	
	4 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	42	7.7%	36	4.7%	16	4.0%	14	3.0%	
	5 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	9	1.6%	18	2.4%	2	0.5%	6	1.3%	
	6 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	3	0.5%	14	1.8%	1	0.3%	1	0.2%	
	7 業務に関連し、違法行為を強要された	16	2.9%	23	3.0%	12	3.0%	9	1.9%	
	8 達成困難なノルマが課された	38	6.9%	38	5.0%	12	3.0%	10	2.1%	
	9 ノルマが達成できなかった	19	3.5%	20	2.6%	2	0.5%	7	1.5%	
	10 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	9	1.6%	6	0.8%	6	1.5%	4	0.8%	
	11 顧客や取引先から無理な注文を受けた	8	1.5%	12	1.6%	2	0.5%	3	0.6%	
	12 顧客や取引先からクレームを受けた	26	4.8%	46	6.1%	16	4.0%	18	3.8%	
	13 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	8	1.5%	4	0.5%	0	0.0%	2	0.4%	
	14 上司が不在になることにより、その代行を任された	6	1.1%	9	1.2%	3	0.8%	3	0.6%	
	③仕事の量・質	15 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	136	24.9%	128	16.9%	59	14.9%	61	13.0%
		16 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	44	8.0%	49	6.5%	10	2.5%	12	2.5%
17 2週間にわたって連続勤務を行った		35	6.4%	34	4.5%	4	1.0%	7	1.5%	
18 勤務形態に変化があった		13	2.4%	12	1.6%	7	1.8%	8	1.7%	
19 仕事のペース、活動の変化があった		6	1.1%	10	1.3%	5	1.3%	5	1.1%	
④役割・地位の変化等	20 退職を強要された	32	5.9%	53	7.0%	21	5.3%	32	6.8%	
	21 配置転換があった	64	11.7%	109	14.4%	39	9.8%	53	11.3%	
	22 転勤をした	20	3.7%	20	2.6%	4	1.0%	1	0.2%	
	23 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	8	1.5%	10	1.3%	7	1.8%	6	1.3%	
	24 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	10	1.8%	9	1.2%	5	1.3%	6	1.3%	
	25 自分の昇格・昇進があった	17	3.1%	19	2.5%	12	3.0%	5	1.1%	
	26 部下が減った	3	0.5%	10	1.3%	5	1.3%	1	0.2%	
	27 早期退職制度の対象となった	0	0.0%	5	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	
28 非正規社員である自分の契約満了が迫った	1	0.2%	8	1.1%	3	0.8%	6	1.3%		
⑤対人関係	29 (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	78	14.3%	90	11.9%	64	16.1%	101	21.4%	
	30 上司とのトラブルがあった	227	41.5%	293	38.6%	179	45.1%	219	46.5%	
	31 同僚とのトラブルがあった	48	8.8%	57	7.5%	55	13.9%	65	13.8%	
	32 部下とのトラブルがあった	9	1.6%	18	2.4%	3	0.8%	8	1.7%	
	33 理解してくれていた人の異動があった	9	1.6%	6	0.8%	12	3.0%	10	2.1%	
	34 上司が替わった	10	1.8%	9	1.2%	1	0.3%	12	2.5%	
	35 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	5	0.9%	8	1.1%	2	0.5%	1	0.2%	
⑥セクシュアルハラスメント	36 セクシュアルハラスメントを受けた	5	0.9%	1	0.1%	64	16.1%	36	7.6%	